

令和4年度 加古川市教育委員会不登校児童生徒対策本部会議及び

加古川市教育委員会不登校対策推進委員会の実施状況

1 加古川市教育委員会不登校児童生徒対策本部会議について

- 令和4年5月16日（月） 第1回加古川市教育委員会不登校児童生徒対策本部会議を実施
- 令和3年度加古川市における不登校の状況及び不登校対策について報告
- 令和4年度加古川市の不登校対策について協議
 - ・不登校児童生徒の支援のため、小学校メンタルサポーターの配置拡大や適応指導教室を活用していく。
 - ・不登校児童生徒の家庭への福祉的支援を促すために、スクールソーシャルワーカーや学校支援ソーシャルワーカーを活用していく。
 - ・不登校等諸問題に対応するためにスクールサポートチームの活用をすすめる。
 - ・不登校支援を考えていく中で対応が難しい場合でも、次につながるような支援の仕方を提案、協議していく必要がある。

2 加古川市不登校対策推進委員会について

- 活動状況および今後の計画

回	月/日	会場	内 容
1	5/24 (火)	青少年女性センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の不登校対策の推進について ・各中学校区ユニット別情報交換
2	6/20 (月)	加古川市民会館 大ホール	講演：「自分らしく生きるということ－体験から学ぶ子ども達－」 講師：NPO 法人生涯学習サポート兵庫理事長 山崎 清治 氏
3	9月	各中学校 (中学校区ユニット単位)	①ユニット別不登校対策会議（情報交換） <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒の情報交換（兄弟関係のある児童生徒） ・小中連携の在り方について
4	11月	各中学校 (中学校区ユニット単位)	①ユニット別不登校対策会議（情報交換） <ul style="list-style-type: none"> ・各校の不登校対策の実践について ・気になる児童生徒の現状について
5	2/24 (金)	加古川市役所北館	①ユニット別不登校対策会議（情報交換） <ul style="list-style-type: none"> ・各校の不登校対策の実践について ・小学校から中学校への引継ぎについて

- 第1回を振り返って
 - ・2年ぶりに担当者が一堂に会して開くことができた。小中の連携、さらには同校種間の連携も図ることができた。
- 第2回を振り返って
 - ・一般参加者（保護者を含む）21人、教職員275人、合計296人の参加であった。
 - ・参加者のアンケートを見ると、高評価（平均3.68 4件法）を得たと考えられる。
 - ・アンケートの記述を見ると、一般参加者からは「子どもにとって考える機会や成長の可能性を奪わない大人でありたい」「子どもに失敗させる体験の大切さ、自立について考えさせられた」というような記述が多く、参加者が子どもへの接し方を見つめるきっかけになり得たと考えられる。また、教職員からは、「成功、失敗に関わらず、体験活動をさせることの重要性」「子どもたちが主体的に考えて行動するために、教師がどのように関わっていくかが大切」など本研修会で得た学びが非常に多く、これまでの、また、これからの関りについて深く考えることができる研修となった。

令和4年度 メンタルサポーターの実施状況（8月末現在）【中学校】

青少年育成課 教育相談センター

1 別室利用状況（のべ人数）

	令和3年度*	令和4年度
合計利用者数	3,315人	2,989人
一校当たり月のべ人数平均	55.3人	49.8人

2 家庭訪問実施状況（のべ人数）

中学校 学年	令和3年度*		令和4年度	
	合計	一校当たり月平均	合計	一校当たり月平均
1年	13人	0.2人	12人	0.1人
2年	40人	0.7人	42人	0.7人
3年	83人	1.4人	87人	1.5人
合計	136人	2.3人	141人	2.3人

3 不登校生徒及び不登校傾向にある生徒の改善状況（のべ人数）

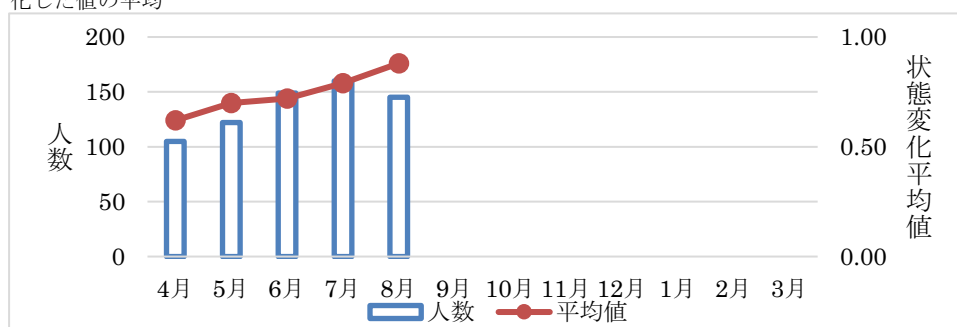
改善内容	令和4年度	
	合計	月平均
不登校傾向にある生徒が、主に教室で過ごせるようになった。	163人	32.6人
” 主に別室で過ごせるようになった。	359人	71.8人
” 主に保健室や玄関先等に登校できるようになった。	48人	9.6人
” 主に放課後登校できるようになった。	24人	4.8人
” 主に関係機関等で過ごせるようになった。	84人	16.8人
合計	678人	135.6人

4 メンタルサポーターの支援による生徒の状態変化

	4月	5月	6月	7月	8月
人数（人）	105	122	149	160	145
平均値	0.62	0.70	0.72	0.79	0.88

※人数：メンタルサポーターがその月に支援した実数。

※平均値：前月と比較した生徒の状態をメンタルサポーターの見立てで「好転（+1）」「退転（-1）」「維持（±0）」で数値化した値の平均



5 昨年度との比較

昨年度の同時期と比較すると、利用生徒数は減少している。市内の不登校生徒数は増加しているため、別室を利用せず家庭等で過ごす生徒が増加していると思われる。家庭訪問の数は昨年度と比べてわずかではあるが増加しており、家庭等で過ごす生徒への訪問が行われていること、別室利用者が減少したことに伴い、家庭訪問をする機会を取りやすくなったことが考えられる。メンタルサポーターからは、登校しづらくなった早い段階での対応や、担任との連携を密にした支援を通して、教室で過ごせる生徒が増えたという報告が挙げられている。

※令和3年度は、令和3年8月末の数値。

令和4年度 メンタルサポーターの実施状況（8月末現在）【小学校】

青少年育成課 教育相談センター

1 別室利用状況（のべ人数）

	令和3年度	令和4年度
合計利用者数	/	94人
一校当たり月のべ人数平均		31.3人

2 家庭訪問実施状況（のべ人数）

小学校 学年	令和3年度		令和4年度	
	合計	一校当たり月平均	合計	一校当たり月平均
1年	/	/	0人	0人
2年			0人	0人
3年			0人	0人
4年			0人	0人
5年			4人	0.3人
6年			0人	0人
合計			4人	0.3人

3 不登校児童及び不登校傾向にある児童の改善状況（のべ人数）

改善内容	令和4年度	
	合計	月平均
不登校傾向にある児童が、主に教室で過ごせるようになった。	30人	7.5人
” 主に別室で過ごせるようになった。	25人	6.3人
” 主に保健室や玄関先等に登校できるようになった。	5人	1.3人
” 主に放課後登校できるようになった。	11人	2.8人
” 主に関係機関等で過ごせるようになった。	36人	9人
合 計	107人	21.4人

4 メンタルサポーターの支援による児童の状態変化

	4月	5月	6月	7月	8月
人数(人)	9	17	21	19	/
平均値	0.44	0.59	0.62	0.74	/

※人数：メンタルサポーターがその月に支援した実数。

※平均値：前月と比較した児童の状態をメンタルサポーターの見立てで「好転（+1）」「退転（-1）」「維持（±0）」で数値化した値の平均。

